

●大友夫見子さんから…93. 2. 11…カルカッタ発

◆ナマステ。長年の夢、Mother Teresa にお会いすることができました。入社時の面接用紙、尊敬する人の欄に彼女の名前を書いて以来、いつか逢おうと決め、昨年の重態説ではハラハラしました。念ずれば通ず。お話することもできました。◆インドは不可解な国ですが、楽しんでいます。高所得者(?)の私も30ルピーのドミトリーにいます。

は孤児院で子供達(といっても0才から3才が主ですが)の世話をし、午後は重度の病気の老人のお世話をしていました。偽善的ではありますが、マザー・テレサに会うのが夢で、ただ会うだけでは気が引けますし…、と思い行ったのですが、実際行ってみると、何かせすにはられない状況でした。他にも日本人が何人かボランティアに訪れていましたが、長い人は1年近くもいるということです。◆幸い(?)私は仕事もあり、病身の母もいるので1年ボランティアはできませんが、果たして1年やる必要があるのか疑問でした。言葉は悪いですが“テメーラ、日本で他にやることないの?!”みたいな気持ちでした。中には素晴らしい人もたくさんいましたが、私には現実逃避に思える人も多々見受けられました。◆と、偉そうに書いていますが、私が日本で何ができるかということも疑問です。と、能書きばかり書いてしまいました。赤痢で隔離されているはお話になりませんので、解放されてからじっくり考えたいと思っております。

●大友夫見子さんから…93. 2. 22…公立S病院隔離病棟発

◆カルカッタからの便りは届きましたでしょうか。◆マザー・テレサに4回も逢えた、と喜んだのも束の間、今、隔離病棟に赤痢で入院というか、強制収容されています。はじめの3日間は、3度、3度ご飯も食べれて、好きなだけ眠れるなんて、と喜んでいましたが、もう飽きてしまいました。◆カルカッタでは、朝夕6時に行われる、マザーズハウスでのミサに、クリスチャンでもないのにこのこと出かけ、午前中

9  
3

●菅原やすのりさんから…

日頃地球線通信とお送り下さり有難うございます。地球に生きる一人一人に個性あり、それを水の生き方より方々有りませう様な意見が出る事は素晴らしい事だと思っております。また素晴らしい事はお互いの相違を認め合いつつ、協力し助け合う方法と具体的な折り、共存、共生してゆく事だと思っております。地球会議はまさにその縮図だと思っております。力のあふる人、逆境にいらる人、いと耐えていへる活動の時期を迎えた人……色々の立場の人が共生できるように願っております。月、一回の通信

と読んでいます。立場が有りか、どうも皆々の活動と楽しみにして、一人一人の事由大に下す。小生は三月末に南極に向かいます。自分等に地球の中を頑張る。船のつりやけるよう努力を……ゆくり有りませう。地球に生きる……そんな気持ちです。はたの僅かですが、記念切手か本も……有りませう。通信に同封下さり、通信に使用して下さい。

一九九三年二月十九日

菅原やすのり